

2008年6月22日

本日の課題と提案

第32回高知県リハビリテーション研究大会

課題

- ケアマネジメントする人がいない
- 関係機関を連携させるマネジメントを誰がするか
- ライフステージに沿って支援をつなぐ役割がない
- サービス量が少ない？利用者も少ない？採算性は？
- 重度の人でも能力に応じて働くことができるような選択肢のあり方

ケアマネジメントをする人がいない

- 誰がするのか; できる力量は経験を持った人がわずかしかない。

→すぐにはケアマネシステムを作ることは困難だが、システムやネットワークを作ることが必要。

ライフステージに沿って支援をつなぐ 役割がない

- 関連機関を連携させるような動きが必要。
- デイはADL介助とか参加とかレスパイトケアと言ったデイの機能を発揮することも必要だが、その人のライフステージを見たプランを立てることも必要。
- 何か課題を感じた、問題が発生したときにすぐに関係者が集まる場(〇〇会議)を開く。

サービス量が少ない？ 利用者も少ない？採算性は？

- 選択できるほどのサービス量はあるのか？
→その人に必要なサービスを作り出すことも必要

重度の人でも能力に応じて働くことができるような選択肢のあり方

- 介護保険; 日常生活の支援
- 自立支援法; 日常生活または社会生活の支援という意識を持った取り組みが必要

問題を解決する中心母体は

- 自立支援協議会なので、自立支援協議会をしっかりと作ろう！
- 個別のケア会議とは別に共通した問題点を定期的に集まって議論する場を作ろう
- フットワーク軽く
- 一人ひとりのニーズを掘り出す相談支援事業に始まる